

第4回 在宅リハビリテーション研究会 演題募集要項

お知らせ：当日の演題発表は、zoomを使ったオンライン発表となります。また、当日は通信状況に左右されますので当日までに e-learning システム を使用し、オンデマンドで事前に発表動画が閲覧されます。

1. 募集演題

一般演題：口述発表のみを受け付けます。

2. 応募資格

公益社団法人広島県理学療法士会会員

理学療法士以外の他職種：看護師・作業療法士・言語聴覚士・栄養士・介護福祉士・介護支援専門員等

3. 募集期間

2021年9月1日（水）～2021年11月7日（日）

4. 発表時間

持ち時間：発表10分・質疑応答5分の計15分

質疑応答や討論の時間を大切にしますので、当日の状況により若干変更する場合があります。

5. 応募方法

1) 応募方法は E メールを利用した提出となります。

①理学療法士の方

提出先：在宅リハビリテーション研究会 演題担当 埜里織

提出先アドレス：zaitakureha.hiroshima@gmail.com

②他職種の方

提出先：在宅リハビリテーション研究会 演題担当 埜里織

提出先アドレス：zaitakureha.hiroshima@gmail.com

※提出の際は職種の記載をお忘れないう、お願いいたします。

2) 抄録作成方法

ホームページより抄録テンプレートをダウンロードし、必要事項を記入してください。作成時は下記、「6. 応募上の注意」「7. 応募演題に関する倫理上の注意」を参照してください。保存形式は、Word のみ受け付けます。

3) 提出について

必要事項を記入した抄録集テンプレートを上記のメールアドレスに送信してください

4) 演題登録の必要事項

① 演者氏名（ふりがな）、所属、職種

理学療法士の方は日本理学療法士協会会員番号（8桁）

② 連絡先（所属）、郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス

③ 演題に関する情報

発表分類：一般演題

演題内容：研究発表・症例報告・活動報告

演題分類：基礎理学療法、神経理学療法、運動器理学療法、内部障害系理学療法、生活環境支援理学療法、物理療法、教育管理理学療法
活動報告（演題内容で活動方報告を選択された方は、演題分類でも「活動報告」を選択してください。）

キーワード：3つ（附録の、演題発表キーワード例をご覧ください。）

5) 演題応募後、受付確認の返信メールをいたします。

1週間以内に受付確認メールが返信されない場合はお手数ですがご連絡下さい。

6. 応募上の注意

- 1) 応募された演題と大会当日の発表内容が変わることがないようにしてください。
- 2) 筆頭演者としての応募は1人1題とします。
- 3) 他学会や雑誌等で発表済の演題応募はできません。
- 4) 演題申し込みにあたっては、共同演者の了解を得た上で応募してください。なお、共同演者も筆頭演者と同等の責任を負うことをご承知ください。
- 5) 文字数はタイトルと副題で 50 文字以内、本文は 800~1200 字以内とします。フォントについて：演題名のみ MS ゴシック、本文は MS 明朝、サイズは 10 ポイントとします。
- 6) 抄録内容について
研究発表の場合は、【目的】【方法】【倫理的配慮】【結果】【考察】【結論】
症例報告の場合は、【はじめに】【倫理的配慮】【症例紹介】【経過】【考察】
活動報告の場合は、【はじめに】【活動状況】【今後の課題】【発表の意図】
- 7) 演題募集期間終了後の演題の取り消しはご遠慮ください。

8) オンライン実施に関する注意事項

- ① 査読の結果、抄録内容の一部変更をお願いする場合があります。
- ② 発表当日の質疑応答において、発表者の Web 回線トラブル等により参加できなかった場合は、発表データのみ参加者へ閲覧されることとなることを予めご了承ください。
- ③ 発表当日の Web 回線トラブル等によりディスカッションが行えなかった場合は、座長からの質問に対する演者からの回答レポートの提出を以ってポイント取得とみなします。

- ④ 当日 Web を使用しディスカッションが行えるパソコン、また、機器環境によりマイク、ヘッドフォン等の通信に必要な機器を自身でご用意できる方に限らせていただきます。事前にご用意できることを確認のうえ申し込みしてください。なお、ディスカッションは ZOOM を使用いたします。
ZOOM ミーティング <https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>
- ⑤ ZOOM 使用にあたってパソコンの OS は、Windows は Windows10 以降のもの、Mac は macOS X、macOS10.9 以降のものを推奨しています。また、CPU デュアルコア 2Ghz 以上、メモリ 4GB 以上を推奨します。使用予定の PC でのスペックで対応が可能かどうか確認が必要な方は、演題登録前に事務局へご連絡ください。なお、ZOOM よりリンク先にて案内されております。
<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>
- ⑥ e-learning での事前視聴動画はご自身で作成いただきます。作成はパワーポイントのみで作成可能です。作成方法は後日別途ホームページで案内させていただきますのでご確認ください。なお、発表スライドでのアニメーション、動画の使用はお控えください。
- ⑦ 発表者のみなさまと座長のみなさまには当日までに、実際に zoom を利用したりリハーサルを予定しております。リハーサルの詳細が決定いたしましたら、後日、メールにお知らせいたします。
- 9) 採択させていただいた演題における抄録、事前視聴動画、当日発表内容などの著作権・肖像権に関しましては「公益社団法人広島県理学療法士会」に帰属いたします。

7. 査読について

- 1) 「第 4 回在宅リハビリテーション研究会」に応募された演題は以下の査読ポリシーの元に査読されます。
- 2) 査読者
査読は広島県理学療法士会が依頼した広島県内の認定理学療法士によって行われます。
- 3) 応募演題への査読者割り当て
 - ① 応募演題 1 題につき 2 人の査読者が査読します。
 - ② 査読者が演者（筆頭、共同含む）になっている演題と査読者の所属施設から応募された演題は、当該査読者に割り当てません。
- 4) 査読内容
 - ① 採点：査読者は別に定める基準に従って、演題分類ごとに以下の項目について行います。
 - (1). 一般研究発表
 - (ア) 演題名とキーワード：演題名は発表内容を十分に表現しているか。キーワードは適切か。
 - (イ) 目的：目的が明確に述べられているか。研究の必要性が明確に述べられているか。
 - (ウ) 方法：計測・評価方法は適切か。追試しやすいように記載されているか。介入（治療）研究の場合、その内容が記載されているか。

- (エ)結果：客観的な結果（データ）が記載されているか。
- (オ)考察：研究目的と考察との一貫性があるか。論理的飛躍がないか。

(2). 症例研究発表

- (ア)演題名とキーワード：演題名は症例内容を十分に表現しているか。キーワードは適切か。
- (イ)症例紹介：症例を理解するための情報が記載されているか。
- (ウ)経過：客観的な経過が記載されているか。
- (エ)考察：論理的飛躍がないか。

(3). 活動報告

- (ア)演題名とキーワード：演題名は活動内容を十分に表現しているか。キーワードは適切か。
- (イ)活動状況：活動を理解するための情報が記載されているか。
- (ウ)今後の課題：論理的飛躍がないか。

②倫理的配慮・個人情報保護など

- (1). **倫理的配慮・個人情報保護に関する記載は必須です。**
- (2). 「活動報告」では、反社会組織による活動、宗教的信条に基づいたものでないこと、活動内容に公益性があり営利目的でないことが必須です。

③採否の決定

演題の採否は、査読結果をもとに学会運営委員会の審査を経て最終的に準備委員長が決定します。

- ④本査読ポリシーにご同意いただかないと、演題登録ができませんので注意してください。

5) 査読後の抄録修正

査読後に抄録の修正が必要な方にはメールでお知らせしますので、修正後メールで提出をお願いします。

8. 応募演題に関する倫理上の注意

- 1) 公益社団法人広島県理学療法士会で定める「個人情報保護に関する規定」および「論文および学会・研究会・検討会等での発表における患者プライバシー保護に関する規定」を遵守してください。
- 2) ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し、演者の所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合にはその旨を抄録中に記載してください。
- 3) プライバシーの侵害や人体に影響を与える発表に関しては、対象者に説明と同意を得たことを本文中に明記してください。抄録中に倫理的配慮に関する記述がない場

合には登録できませんので注意してください。

9. 応募演題に関する利益相反 (Conflict of Interest : COI) について

- 1) 第 4 回在宅リハビリテーション研究会では、発表者は COI についてテンプレートを参考いただき、発表時に必ず開示をお願いします。
- 2) 申告すべき事項と条件
 - ①臨床研究に関連する企業・法人組織や営利を目的とした団体（以下、企業・組織や団体という）の役員、顧問職については、1つの企業・組織や団体からの報酬額が年間 100 万円以上とする。
 - ②株式の保有については、一企業あたり 1 年間の株式による利益（配当、売却益の総和）が 100 万円以上の場合、あるいは当該全株式の 5%以上を所有する場合とする。
 - ③企業・組織や団体からの特許権使用料については、1つの権利使用料が年間 100 万円以上とする。
 - ④企業・組織や団体から、会議の出席（発表）等、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料など）については、1つの企業・組織や団体の総額が年間 50 万円以上とする。
 - ⑤企業・組織や団体からパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料については、1つの企業・組織や団体の総額が年間 50 万円以上とする。
 - ⑥企業・組織や団体から提供される研究費については、1つの企業・組織や団体から臨床研究（受託研究費、共同研究費など）に対して支払われた総額が年間 200 万円以上とする。
 - ⑦企業・組織や団体から提供される奨学（奨励）寄付金については、1つの企業・組織や団体から、申告者個人または申告者が所属する部局（講座・分野）あるいは研究室の代表者に支払われた総額が年間 200 万円以上の場合とする。
 - ⑧企業・組織や団体から提供される寄付講座に申告者らが所属している場合とする。
 - ⑨その他、研究とは直接無関係な旅行、贈答品などの提供については、1つの企業・組織や団体から受けた総額が年間 5 万円以上とする。

10. 演題募集に関する問い合わせ先

広島県理学療法士会 在宅リハビリテーション研究会
準備委員長 三上亮 longtermcare@hpta.or.jp

【 付録 】

在宅リハビリテーション研究会演題発表キーワード例

分類	キーワード	発表例
地域との関わり	転倒予防・介護予防・社会資源の活用・ボランティア・患者家族会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業参加者へのアンケート結果 ・地域包括ケアシステムを見据えた地域高齢者と理学療法士の取り組み
介護保険におけるリハビリテーション	訪問・通所リハビリテーション・通所介護における機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問リハにおける週1回または週2回利用することでのADLの改善度 ・退院後に通所リハビリの利用を開始した期間と運動能力の改善度
生活期との連携	外来・回復期リハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定等支援・管理料を算定するようになってからのリハビリ実施期間の調査 ・退院後に能力、ADLがどのようになっているかアンケートを取り調査した結果
ICF	ゴール設定・リハビリテーションプログラム作り・活動、参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ICFに基づく理学療法士の課題と展望 ・理学療法士の経験年数の違いが目標設定に及ぼす影響
教育と管理	人材育成・職場環境・業務管理・リスクマネジメント・施設運営	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険分野に経験年数の多いセラピストを配置することでクリニックなどの医療の現場に若いスタッフが増えている現状とスタッフへの教育方法
ADL	指導・家族教育・精神的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・介護度とADLと家族介護負担との関係 ・ADL予後予測の実際
福祉用具環境整備		<ul style="list-style-type: none"> ・家屋調査が与える退院後の生活状況への影響 ・福祉住環境整備における理学療法士の役割
症例活動報告		<ul style="list-style-type: none"> ・発展性のある症例、活動報告 ・理学療法士の専門性を活かす報告